

海外留学に関する単位

修了要件単位

コース科目区分	コースの授業科目名		単位	SGL	GL1	GL2	LS
サマー・ スプリング スクール	A	グローバル海外短期実習 LSの修了要件では連続20日以上必要	1		1	1	
海外留学・ インターンシップ	B	グローバル対応海外留学・インターンシップ(長期) ※派遣期間6ヶ月以上	2	1	1	1	1
	C	グローバル対応海外留学・インターンシップ(短期) ※派遣期間40日以上～6ヶ月未満	1				
		留学セミナー	1				

LSは要注意!!

「グローバル海外短期実習」で修了要件1単位を満たす場合は
連続20日以上プログラムへの参加が必要です。
複数の派遣を合算は不可 例：10日+10日、5日+15日など

履修方法

「グローバル人材育成特別コース単位認定対象プログラム」に参加する場合

①留学計画をたてる。

いつ? どこに行く? 期間は? グループの修了要件によって計画も変わります。

情報の入手としっかりした計画が大切です。

国際部や学部で開催する海外派遣関連の説明会には1年生から参加しましょう。
スタディ・アブロード部門窓口でも質問できます。(一般教育棟C棟1階国際部)
留学準備デスクで先輩の話を聞いてみましょう。

<https://intl.okayama-u.ac.jp/outbound/advisorycenter/>

留学可能な時期は学部によって異なります。

特に長期留学の場合は、学部の履修アドバイザーにも相談しましょう。

②参加するプログラムを決めて申し込む。

プログラムによって所管も申し込み方法も異なります。早めに調べて準備しましょう。

③参加するプログラムと成績登録される科目名を育成院窓口で連絡する。

国際部で受付するEPOK、語学研修、海外短期研修は連絡不要です。

部局プログラムに参加する場合は成績表に登録される専門科目名をお知らせください。

A・B・C以外の科目で成績登録される場合

コースの修了要件では派遣期間等に応じてA・B・Cのいずれかに読み替えることができます。なお、読み替え後の科目は成績表には表示されません。

『グローバルスタディズ2』の対象にもなっている派遣プログラムの科目

コース修了要件ではA or B or Cまたは『グローバルスタディズ2』から科目を選択することになります。詳細は育成院窓口でお尋ねください。

「グローバル人材育成特別コース単位認定対象プログラム」に掲載のないプログラムに参加する場合

申し込む前(検討中の段階)になるべく早めに育成院窓口にご相談ください。

学外のプログラムの場合、個別の手続きに数ヶ月かかる場合もあります。

A 「グローバル海外短期実習」の例

国際部で受付する語学研修・海外短期研修

初修外国語語学研修，学部が主催する交流プログラムや海外短期研修など

B 「グローバル対応海外留学・インターンシップ（長期）」の例 ※派遣期間 6ヶ月以上

EPOK や学部の長期留学プログラムなど

C 「グローバル対応海外留学・インターンシップ（短期）」の例 ※派遣期間 40日以上～6ヶ月未満

EPOK や学部のプログラムなど

【複数の40日未満のプログラムで合算することも可能】

国際部で受付する語学研修・海外短期研修

初修外国語語学研修，学部が主催する交流プログラムや海外短期研修など

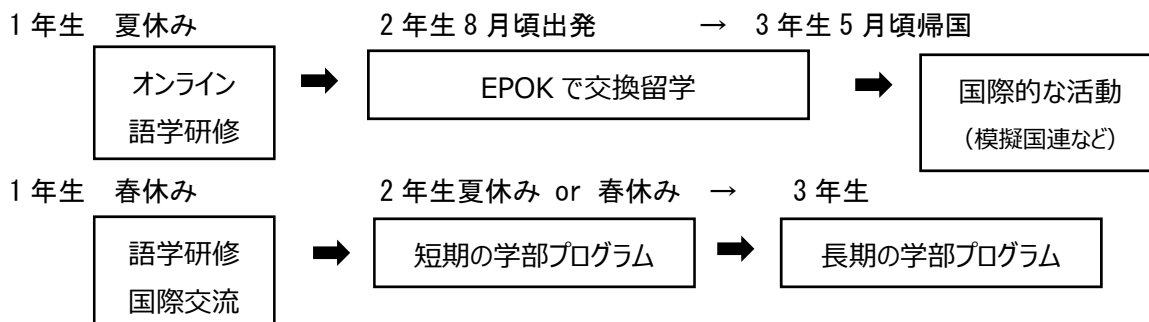
複数の派遣で合算して40日を満たす場合のルール

例

○ 20日 + 20日
○ 20日 + 10日 + 10日
○ 20日 + 5日 + 5日 + 5日 + 5日

× 10日 + 15日 + 15日 (連続20日を含んでいないため不可)

留学パターンの例 (複数回チャレンジする場合)



海外派遣にはいろんなスタイルがあります。
グローバル人材育成特別コース HP の「かがやく先輩」を参考にご覧ください。

「留学セミナー」

海外での留学生活，現地の大学での学習等で必要となる実用的な知識を身につけ，海外生活で想定される様々な問題について対処を考えて話し合う授業です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況下，本学では渡航留学に厳しい制限と学内審査があります。留学可能なプログラムは岡山大学が実施するものなど，ごく一部に限られます。(2022年4月現在)
岡山大学公式 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/tostudent-aboutcoronavirus.html>

コース生の渡航留学に関する問い合わせ先 グローバル人材育成院 global@adm.okayama-u.ac.jp

「Gコース海外派遣緊急特別対応」

新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外派遣が困難な状況を考慮して，実渡航の代わりにオンラインプログラムや国際的な活動を認める期間限定の特別対応です。詳細な情報は「グローバル人材育成特別コース入門」の授業やコース生向け Moodle 等で説明します。2020年度以降，多くのコース生がオンラインプログラムや国際的な活動に参加しています。